



(写真提供：豊田直巳)

飯舘村放射能エコロジー研究会 (IISORA) 2014 東京シンポジウム

あれから3年

震災・原発災害克服の途を探る

併催：飯舘村酪農家・長谷川健一写真展『飯舘村』

日時：2014年5月10日（土）13：00～18：00

場所：國學院大学 渋谷キャンパス 常磐松ホール

〒150-8440 東京都渋谷区東4-10-28 学術メディアセンター内

http://www.kokugakuin.ac.jp/guide/access_shibuya.html

参加費：無料（申し込み不要）

- ◆共催：飯舘村放射能エコロジー研究会、國學院大学（環境教育研究プロジェクト、大学院特定課題研究グループ）、NPO 法人エコロジー・アーキスケーブ
- ◆協力団体（50音順）：飯舘村後方支援チーム、飯舘村写真展実行委員会、京都大学原子炉実験所原子力安全研究グループ、原子力資料情報室、原発事故被害者相双の会、國學院大学共存学プロジェクト、国際環境 NGO FoE ジャパン、市民エネルギー研究所、星槎大学鬼頭研究室、世界自然保護基金（WWF）ジャパン、日本大学生物資源科学部系長研究室、農村計画学会、BIOCITY、ヒューマンライツ・ナウ、ふえみん婦人民主クラブ、北海道大学スラブ研究センター家田研究室

お問い合わせ先 / IISORA シンポジウム事務局 E-mail:sympo@iitate-sora.net

飯舘村放射能エコロジー研究会ホームページ <http://iitate-sora.net/>

プログラム

13:00 開会あいさつ 加藤季夫（國學院大學副学長）

■基調講演（13:10－13:50）…………… 座長 菅井益郎（國學院大學）

・飯館村の歴史と原発事故 多田 宏（飯館村 綿津見神社宮司）

■第1部（13:50－14:40）飯館村村民からの発言

…………… 座長 浦上健司（エコロジー・アーキスケープ）

・（飯館村民）長谷川花子、長谷川健一、菅野哲

<休憩 14:30－14:40>

■第2部（14:40－15:40）震災・津波被害からの復興

…………… 座長 糸長浩司（日本大学）

- ・津波被災漁村の復興再生アクション（大船渡市基石） 藤沢直樹（日本大学）
- ・宗教を越えた災害支援のネットワーク 黒崎浩行（國學院大學）
- ・震災復興に伝統文化の力をどう生かすか？ 茂木 栄（國學院大學）

■第3部（15:40－17:00）放射能汚染とその影響

…………… 座長 小澤祥司（環境ジャーナリスト）

- ・飯館村初期被曝評価プロジェクトの報告 今中哲二（京都大学）
- ・飯館村の宅地・住宅内放射線量調査 糸長浩司（日本大学）
- ・飯館村の山菜・食品等の放射能汚染調査 伊藤延由（飯館村住民）
- ・福島原発の事故に伴う放射能汚染のコイ免疫系に及ぼす影響 鈴木讓（元東京大学）

<休憩 17:00－17:10>

■総合討論（17:10－18:00）震災・原発災害克服の途を探る

～報告者と会場との意見交換～ モデレーター 古沢広祐（國學院大學）

18:00 閉会あいさつ

菅井益郎（國學院大學）



國學院大學 渋谷キャンパス 常磐松ホール

【渋谷駅からのアクセス】

- ・JR山手線・地下鉄・京王井の頭線・東急各線から徒歩約13分
- ・JR埼京線 新南口から徒歩約10分
- ・都営バス
（渋谷駅東口バスターミナル54番のりば
学03日赤医療センター行）
「国学院大学前」下車（所要時間約10分）

【表参道駅からのアクセス】

- ・地下鉄半蔵門線・銀座線・千代田線
B1出口から徒歩約15分

【恵比寿駅からのアクセス】

- ・JR山手線・地下鉄日比谷線から徒歩約15分
- ・都営バス
（恵比寿駅西口ロータリー1番のりば
学06日赤医療センター行）
「東四丁目」下車（所要時間約10分）